

指定管理者の実績評価シート

令和元年5月(平成27年度～平成30年度実績)

施設名	刈谷市郷土資料館		
主管部課等名	市民活動部 文化観光課(歴史博物館)		

(1)指定管理者の概要

指定管理者	刈谷市都市施設管理協会 理事長 川口 孝嗣		
所在地	刈谷市東陽町1丁目1番地		
管理体制	室長1人、室長代理1人、パート2人		
指定期間	H27.4.1～R2.3.31	指定方法	任意
管理業務の内容	資料館の施設管理業務、施設及び設備等の修繕業務、運営業務		

(2)運営状況

行事・講座等	原則として各月第1及び3土曜日にイベントを実施。内訳は次のとおり。 年2回:シャボン玉遊び、竹馬作り、万華鏡作り、竹の水鉄砲作り、門松作り 年1回:竹の紙鉄砲作り、竹ぼっくり作り、七夕飾り作り、竹灯籠作り、夏祭り、竹のけん玉、親子で歴史散歩、マジックバルーン作り、ゴム鉄砲作り、起き上がりこぼし、石うす体験、昔のくらし、よちよち木登り、ダイヤ凧作り			
サービス向上への取り組み	意見用紙を設置し、来館者のニーズ把握に努めている。 市の指導に基づき樹木を剪定し、施設環境の改善を図った。			
利用状況	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数(人)	10,821	13,466	11,423	10,311
分室利用者数(人)	1,089	1,614	1,924	323(8月まで)

満足度アンケート	概要	実施時期:毎年2月(年1回) 実施方法:利用者へのアンケート用紙配布・回収 設問:施設の印象及び職員の対応に関して「満足」「やや満足」「ふつう」「やや不満」「不満」から選択			
	結果	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	施設満足度(満足・やや満足)(%)	—	95	96	88
	職員満足度(満足・やや満足)(%)	—	97	92	94
上記への対応状況	施設の印象については、歴史博物館の開館に伴い展示物が減少したこともあり、満足度がやや低下したが、職員の対応や体験教室については、昨年度までに引き続き高い評価を得た。				

モニタリング実施結果

施設及び行事に関する利用者からの反応及びその対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の対応については、昨年度までに引き続き高い評価を得ている。</li> <li>はた織り体験や親子向け体験教室の参加者からは、「また参加したい」や「良い体験ができた」「勉強になった」など、満足の声が聞かれた。引き続き施設の特色を活かしたPRと来館者の満足度向上に努める姿勢がみられた。</li> </ul>
展示に関する利用者からの反応及びその対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔の道具を実際に使っていた当手を思い出せるなどの感想が寄せられている。</li> <li>アンケート実施期間と歴史博物館への展示物移送期間が重なったこともあり、展示物が少ないという意見があったので、市と協議の上、対応が図られていた。(H30)</li> <li>ひな祭りの展示について、来館者からの充実を求める声をふまえて、一層の充実を図るよう取り組んでいた。(H30)</li> </ul>
その他特記事項	平成31年3月24日の歴史博物館開館に併せて、第1展示室は「刈谷の教育」、第4展示室は「昭和の生活」をテーマにそれぞれ展示内容をリニューアルした。

## (3) 収支の状況

収支の状況(単位:円)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収入	指定管理料	18,791,135	18,751,452	19,501,538	19,849,627
	利用料金				
	その他	33,694	41,422	31,312	17,203
	収入(計)	18,824,829	18,792,874	19,532,850	19,866,830
支出	事業費				
	管理運営費	6,274,871	5,882,130	6,836,237	7,146,508
	人件費	11,342,136	11,815,253	11,814,988	11,983,141
	その他	1,207,822	1,095,491	881,625	737,181
	支出(計)	18,824,829	18,792,874	19,532,850	19,866,830

## (4) 総合評価

評価項目	判定
法令等の遵守	B
適正なサービスの提供(苦情対応・アンケートなど)	B
運営状況(協定書、事業計画書等に沿って運営されているか)	B
施設の利用状況(稼働状況、事業計画の達成度など)	B
管理経費等の収支状況(経理状況や経費節減の取組み)	B
自主事業の実施状況	—
施設の維持管理状況	B
保守管理の実施状況	B
総合評価	判定
評価の理由	施設の管理が適切に行われており、利用者の満足度が高い。
	B

## (4) 総合評価の欄について

判定は、各項目につき、下記の4段階評価し、評価不能な項目は「—」とする。

- A: 協定書、仕様書に定める内容を上回る成果があった。
- B: 概ね協定書、仕様書に定める内容どおりの成果があった。
- C: 協定書、仕様書に定める業務内容に達しない面があり、改善の努力が必要。
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要する。
- : 実施していない。